



練馬区

No. 86
2023.10

地域と結ぶ

順天堂大学練馬病院ニュース



地域の皆さまに
愛される高機能病院
としてがんばります。
何なりとご相談ください。



順天堂練馬病院
ホームページ

冠動脈石灰化についてのお話

循環器内科 磯田菊生

健診や近隣の病院で受けた 胸のCT検査から
「心臓の血管(冠動脈)に石灰化があります。」 と言われたことはないでしょうか？

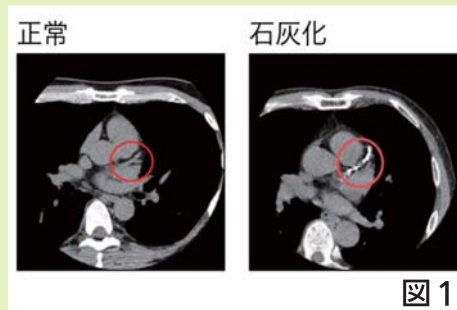


図1

図1に示すように通常の冠動脈にはCTで石灰化を認めません。冠動脈硬化は、最初はコレステロールが主成分なのですが、時間とともにカルシウムを主成分とする石灰に変化してくる方がいます。

動脈硬化の最終像である石灰化は、血管壁の柔軟性と弾力を減少させ、血管脆弱性を招きやすい状態になります。そのため冠動脈石灰化は虚血性心疾患の検出に有用であるという報告があります。

次に冠動脈石灰化の治療についてお話します。図2に示すように、石灰化病変に無理やりステント留置を行うと拡張不全を起こし、急に詰まったり、再狭窄を起こしてしまいます。そこで特殊カテーテルであるロータブレーターとダイヤモンドバックによる石灰化切削が必要となります。

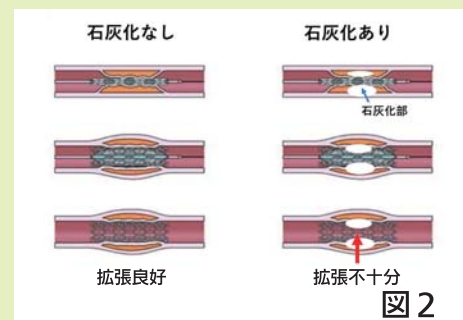


図2

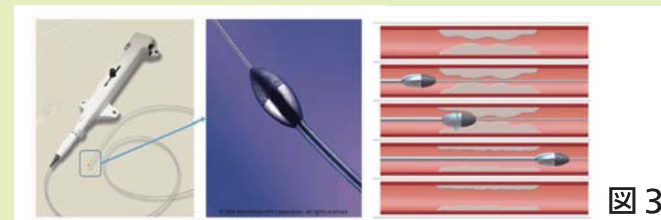


図3

ロータブレーターは歯医者さんが使用するドリルと似ています。先端にダイヤモンドをちりばめた高速回転ドリルで、図3に示すように石灰化を伴う動脈硬化の強い冠動脈狭窄病変内を押し進めて削る装置です。

ダイヤモンドバックとは、先端から6.5mmのところクラウンと呼ばれるダイヤモンドで構成された部分があり、軌道回転を行い、石灰化病変を削る装置です。図4に示すように、クラウンがガイドワイヤーを軸として大縄跳びの縄のように回転することで石灰化を削るためガイドワイヤーに対し、垂直方向に削るデバイスとなっています。**ロータブレーター**と違って、前方向だけでなく後方向に引いても削ることができるのも特徴です。



図4

2022年4月より、これらの装置を使い分け、患者さんそれぞれの石灰化病変に対し、より適した治療法を選択しています。気になる方は循環器内科医にご相談ください。

教授就任あいさつと診療科紹介

産科・婦人科 荻島大貴

この度2023年5月1日付けで医学研究科産婦人科学の教授を拝命いたしました。2009年4月に当院に着任し、婦人科悪性腫瘍と周産期医療を軸にして地域の皆さまに安心、安全、確実な医療の提供に努めてまいりました。悪性腫瘍への治療は病巣を摘出する外科手術、再発を予防するための化学療法、外科的切除が困難な病巣への放射線治療、精神的なサポートを行う緩和ケアを組み合わせた集学的治療です。それに加えて、2020年からは今までの腹腔鏡に加えてダヴィンチサージカルシステムを用いたロボット支援手術を導入し、早期子宮体がんに対してより一層の低侵襲手術を提供できるようになりました。2021年にNICU6床の小児周産期センターが完成し、翌年には東京都地域周産期母子医療センターへ昇格しました。空白のあった都西北部の周産期医療のさらなる充実が図られ、よりハイリスクな妊娠・分娩への対応が可能となりました。その他にも院内助産、無痛分娩、既往帝王切開後の経膈分娩トライ、産後ケアなど、妊婦さんへのあらゆるニーズにお応えいたします。順天堂大学練馬病院は不断前進の精神のもと更に進化をし続けます。今後とも地域の皆さまに安心安全確実な産婦人科医療を提供してまいりますので、どうかよろしくお願い申し上げます。



今年生まれた 雷鳥の雛
筆者撮影

麻酔科・ペインクリニック 菊地利浩

2023年5月より麻酔科・ペインクリニックの教授に就任いたしました菊地利浩と申します。私は2005年の開院時以来、当院の手術室の麻酔管理にあたっております。当院での年間手術件数は7,000件、麻酔科管理件数でも4,000件を超えており、490床の病院としては、かなり高稼働の手術室といえます。2021年からは心臓血管外科、2022年からは形成外科も開設され、さらには本年より三次救急症例の受け入れも始まり、手術室運用の立場からも地域の中核に位置する総合病院としての形が整ったと思います。また、ペインクリニック外来においては、田邊准教授を中心に、神経ブロックを中心とした体系的な痛みの治療を展開しており、年間8,500件以上の痛みの治療に携わっております。更には緩和ケアチームの一員としての活動も行っております。また2016年より無痛分娩管理を始め、現在は年間350件を超えるようになっております。このように、我々は診療における痛みや全身管理に関して、多くの場面でサポートを行っております。すべての診療において、患者さんにとって最適な麻酔管理や疼痛治療を行うことを心掛けているなか、安全第一はもとより、丁寧な説明や手技を行うことをモットーとしております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



神経ブロック中の田邊准教授



麻酔をする手術室の筆者

もの忘れ専門外来

“練馬区もの忘れ検診”をご活用ください。

練馬区もの忘れ検診 **無料**

練馬区から発行される受診券を持って、
検診実施機関*1を受診してください。

対象者①70歳・75歳の練馬区民

②70歳以上で「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」*2
の結果が20点以上の練馬区民

※1, 2の詳細は練馬区ホームページでご確認ください。

インターネット

もの忘れ専門外来 **有料**(健康保険診療)

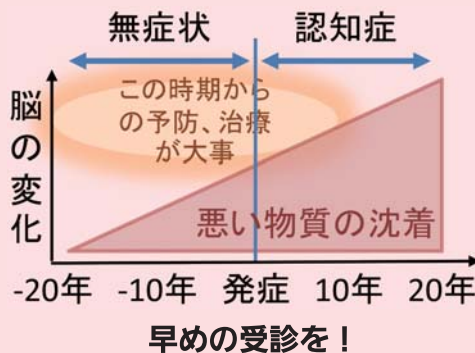
※検診実施機関からの紹介状をご準備ください。

第2, 4月曜日 AM9:00~11:00



脳神経内科
江口 博人

早期診断、早期介入が大切



認知症の予防法は?

1 in 3 認知症の3分の1
は予防可能

運動 睡眠
食事 社会活動

脳のメンテナンス方法



介護、治療、治験なども含め認知症
全般についてご相談ください。

★順天堂練馬病院では専門的な検査（腰椎穿刺、アミロイドPET）や治療（ドネペジル、メマンチン、レカニマブ等）を将来的に導入予定です。

もの忘れ専門外来を受診希望の方は予約センター（03-5923-3240）までお電話ください。

「令和5年度 医療連携の会」を開催しました

医療サービス支援センター 地域医療連携室

令和5年9月2日（土）、ホテルメトロポリタンにて「令和5年度 医療連携の会」を開催いたしました。春に準備を始め、新型コロナ感染症が5類へ移行した後も、少しずつ感染者が増え続け、心配しておりましたが、無事開催することができました。今回は浦尾正彦院長が就任されて初めての会となりました。オンラインでも同時配信をおこない、多くの医療機関の皆さまにご参加いただきました。

当院は、急性期の患者さんを一人でも多く受け入れられるように、医療サービス支援センターが一丸となって転院調整の期間短縮に取り組んでいくことを現在の重点課題としております。今後も三次救急指定病院、地域医療支援病院としての機能強化に、より一層尽力してまいります。



開会の挨拶をする
浦尾正彦
院長



来賓のご挨拶をされる
練馬区医師会長
内田寛 様



来賓のご挨拶をされる
練馬区地域医療担当部長
富田孝 様



順天堂練馬病院 スタッフ一同

順天堂大学医学部附属練馬病院 公開講座

「高齢者が気をつけたい病気」

オンライン
+会場開催!!

① 令和5年10月28日(土) 14:00~15:00

皆さまと皆さまの大切な方を突然失わないために
~一般市民と医療従事者ができること~

座長:脳神経外科 菱井 誠人(教授・科長)
講師:循環器内科 田淵 晴名(助教)

申込期間 9/21~10/25

② 令和5年11月18日(土) 14:00~15:00

知っておきたい目の病気 ~早期発見と受診の大切さ~

座長:新生児科 寒竹 正人(教授・科長)
講師:眼科 本田 紗里(助教)

申込期間 9/21~11/15

③ 令和5年12月16日(土) 14:00~15:00

骨髄異形成症候群 ~高齢者に多い貧血の原因~

座長:産科・婦人科 荻島 大貴(教授・科長)
講師:血液内科 渡邊 直紀(助教)

申込期間 9/21~12/13

対象

練馬区在住・在勤・在学の18歳以上の方

受講料:無料

受講方法

①か②のどちらかを選択できます

①:オンライン開催(Zoom)

②:会場開催(a:生涯学習センターにて映像による受講またはb:順天堂大学練馬病院にて受講※)

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、対面から映像に変更となる場合があります。

申込

①は事前申込不要です。当日、下記QRコードから生涯学習センターのHPをご確認のうえ、Zoomにて受講してください。

②は事前申込が必要です。電話またはメールで生涯学習センターまで上記申込期間内にお申込みください。

※メールの申し込みの場合は、講座名(A~Cの別)、住所(もしくは在勤・在学の方はその所在地)、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、希望受講場所(aまたはb)を記載



https://www.city.nerima.tokyo.jp/kankomoyoshi/bunka/kominkan/moyooshi/koukaiko_za.html

定員

②会場開催 各会場・各回 30名(先着)

練馬区立生涯学習センター

〒176-0012 練馬区豊玉北6-8-1 休館日:月曜(第2月曜、祝日を除く)

メール: S-CENTER@city.nerima.tokyo.jp 電話: 03-3991-1667

共催 順天堂大学医学部附属練馬病院・練馬区



順天堂大学医学部附属練馬病院
広報誌「順天堂大学練馬病院ニュース」

第86号 2023.10

編集・発行 地域医療連携室

〒177-8521 東京都練馬区高野台3-1-10

電話 03-5923-3111

URL <https://hosp-nerima.juntendo.ac.jp>



順天堂練馬病院
ホームページ